

令和5年度 第3回学校運営協議会兼魅力化コンソーシアム役員会議事録

1 日 時 令和6年3月11日(月) 17:30~18:40

2 会 場 松江北高等学校 会議室

3 全体協議

(1)学校運営協議会

①令和5年度の教育活動及び学校評価について〔資料により教頭が説明〕

②意見交換

重点指導目標1について

- 主体的・対話的で深い学び、例えばアウトプット型授業などは、思考力や伝える力を高めるものであるが、同時に自分の学びたいものを見つけることにもなりキャリア教育の側面もあり、さらなる授業の充実を図って欲しい。
- 中学校の授業における主体的・協働的な学びが高校の授業では少ないように感じられるので改善が必要である。
- 卒業生ネットワークを活用してのキャリア形成プログラムはうまくいっているようなので継続すべきである。
- 普通科の総合的な探究の時間における個人探究は興味深いテーマが多い、成果が上がっているようなのでさらに充実させて欲しい。

重点指導目標2について

- 学校生活を送る上で心理的安全が必要である。そのことを確認するためにはアンケートでもっと詳細について聞く必要がある。
- 授業において安心して発言することができる雰囲気作りが大切であり、授業の中でそのような関係づくりができるとよい。

重点指導目標3について

- 厳しくしすぎる必要があるとは思えないが、場に応じたふるまいができるようにすることが大切である。
- あいさつをはじめとし生活の場面での様々な場面で指導が必要な生徒については、そのような行動になる背景を理解する必要がある。
- 規則やルールを守らせることと同時に多様性を受容できる力を鍛えることも必要である。

重点指導目標以外の項目について

- 高校生活を楽しむ姿を伝えることで保護者も喜ぶし、生徒募集の面でも効果があるように思う。
- 中学生が進路を決定する時に、何を基準に選んでいるかを調査する必要がある。
- 「入学して良かった」と思っていない生徒について、その理由を探りケアする必要がある。

(2)コンソーシアム役員会

①コンソーシアムの取組及び魅力化事業費について〔資料により主幹教諭が説明〕

②意見交換

※特に魅力発信（広報・生徒募集）に関する内容について意見交換

- 勉強が大変で他のことができないというイメージが先行しているという松江北高校のイメージがあるが実際には様々な活動もしているのでアピールする必要がある。
- スクールポリシーである「世界の人たれ」という言葉が中学生に届いていない、響いていない可能性がある。何をどうアピールするのか難しいが考えていく必要がある。
- 松江北高校に入学して学ぶことで、ひどく頑張らなくても自然と自分を変えられる
- 中学生の保護者がどのような意識で高校を見ているかというマーケティングの発想をもつての対応が必要に感じる。
- PTAの広報委員として活躍した生徒をインタビューしている。学校生活の楽しい様子を保護者や生徒に伝える必要があるので今後も継続していくことが望ましい。